



■【平成 30 年度通常総会】

5 月 28 日、京都観光文化を考える会・都草の平成 30 年度の通常総会が行なわれました。今年も会場は京都府庁旧議場。

風格ある旧議場で行なう総会は、まるで明治期の議会のように。府有資産利活用の一つの事例にもなるのでは・・・と、ここ数年旧議場をお借りしています。

今年も第 1 部は、都草の顧問・井上満郎先生のご講演。

今回の演題は「長岡京の“発見” —「歴史」と「考古」のはざま—」。

井上先生が歴史の道に進まれるようになった学生時代の思い出と、長岡京へ遷都する理由の一つである皇位継承争いについてお話されました。

休憩を挟んで第 2 部の通常総会を開催しました。

議長に選任された西野嘉一理事のもと、総会の開会が宣言され、下記の 6 つの議案が審議されました。



井上 満郎先生



- 第 1 号議案 平成 29 年度事業報告
- 第 2 号議案 平成 29 年度活動計算書の報告
- 第 3 号議案 定款変更に関する件
- 第 4 号議案 理事の異動に関する件
- 第 5 号議案 平成 30 年度事業計画（案）
- 第 6 号議案 平成 30 年度活動予算（案）

事業報告では、「都草 わくわく倶楽部」や「京のこと語り隊」の新事業も起動に乗り、会員事業では各部の担当者の努力で充実が図れていること、受託事業でも依頼先から高い評価を得ていることなどが報告されました。収益もそれを反映して順調に推移しており、監事から監査の結果が適正であることが報告されました。定款変更については、NPO 法改正にともない「貸借対照表」の公告の方法を定款に追記することが報告されました。理事の異動については、中島孝和会員、須田清司会員の理事就任の報告がなされました。さらに今年度の事業計画や予算も含め、議案全て全会一致で可決承認され、総会は終了しました。

理事 2 名が増えることでよりきめ細やかな組織運営のもと、会員の活躍の場が広がっていくことを願っております。

（副理事長 松枝 しげ美）



■【阪急交通社・JR西日本 「明治維新150年」共同企画】

阪急交通社とJR西日本との共同企画「明治維新150年」に都草が協力しました。この企画は“維新ゆかりの地をめぐる”と銘打って、京都・高知・山口・鹿児島での4回シリーズで行なわれています。

第1回京都編は京都府庁と京都御所のツアーが企画され、都草がガイドを行なう準備を進めていたところ、急遽阪急交通社からツアーに先立って講演を依頼されました。急なことではありましたが、林寛治監事と大谷芙美子会員に講師を快諾していただき、講演は約70名の参加者で非常に好評でした。

本番のツアーは、京都府庁(中庭、正庁、旧知事室、旧議場)と京都御所(紫宸殿、清涼殿、小御所など)を案内して、最後に近衛邸跡の枝垂桜を鑑賞するというコースで、5大特典の内「御所せんべい」は都草が推奨し、「なだ万」の弁当付きで募集をされました。

ツアーの期間中は天候にも恵まれ、好評のなか無事に終了しました。ご協力いただきました皆様、本当にありがとうございました。(理事 芦田 喜雄)

「特別セミナー 京都御所周辺に遺る幕末史跡」



阪急交通社・JR西日本 「明治維新150年」共同企画、「特別セミナー明治維新150年」として幕末の京都について話をしたいとの急な依頼を受けました。激動の幕末はペリー来航に端を発し、攘夷思想の強い孝明天皇の勅許を得ることができないままに幕府が日米修好通商条約を結んだことから、一気に尊攘思想が高まりました。急に権威が強くなった朝廷と幕府との絡み合いは京都御所が舞台になることが多く、やがて倒幕へと進んでいきました。

何に焦点を絞るか悩みましたが、京都御所周辺に遺ったその事跡について話をしてみることにしました。公武合体策で進めた皇女和宮のご降嫁に始まり、会津藩主松平容保の京都守護職着任、孝明天皇と将軍家茂との賀茂社参、猿ヶ辻の変、8.18の政変、禁門の変、薩長同盟成立、王政復古の号令、小御所会議・・・と欲張ったものですから、「話が面白かった」との声もいただきましたが、幕末史跡というより事変の説明に終始してしまったことが反省材料となりました。(会員 大谷 芙美子)

「維新ゆかりの地をめぐる」～ガイドの予想外のハプニング～



都草は阪急交通社とは既に講座の開催で連携関係にあります。今回初めて旅行の企画のガイドを担当することになりました。4回シリーズの第1回は桜の京都編(3月30日～4月8日)で京都府庁から御所をめぐるコース設定でした。私は4月3日の担当でした。ところが1日になって3日は特別展示準備のため御所の拝観は出来ないと判明しました。これは大変、芦田担当理事が阪急交通社に連絡、さあどうするのか?致命的なミス。しかし不測の事態の経験が豊富な旅行会社。芦田理事のアドバイスもあり、御所拝観を御苑内の史跡探訪に切り替え、了解を得るべく参加申込者45人に連絡するという。

私は中止か、せいぜい10人位の参加者と思って、気乗りのせぬまま当日集合場所に行くと、なんと40人が参加、びっくり仰天です。しかしこれにはカラクリあり。実は旅行代金を半額にするとしたのです。お客さんも、行き先が半分変わっても、半額なら「まア、いいか」「そだね～」となったのでしょうか? 日本人は心優しい民族と実感しました。ということで無事、府庁～「御苑」のコースをまだ見頃の桜も眺めつつ近衛邸跡に到着、「なだ万」の弁当を渡してお客さんも満足、無事終了となりました。(監事 福井 大作)